

# 2014年3月期 第1四半期 決算補足資料

2013年8月14日



本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。また、本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。



# 1. 業績概要

## 第1四半期決算トピック

- HomeIT事業については、集合住宅向けISPサービスの新規受注数で過去最高を達成。持続的成長に向けた営業体制が整う。
- クレジットカード家賃収納・保証事業からの撤退に伴う特別損失が発生したが、赤字事業の切り離しとなり、今期業績予想の達成確度はむしろ高まる。
- システム開発事業について7月1日付けで事業譲渡を完了。不動産業界向けITサービスの提供にリソースを集中。
- 通期業績予想は、上記要因により今後堅調に利益計上されていくことが見込まれるため現時点における変更はありません。

# 2014年3月第1四半期連結業績概要【PL】

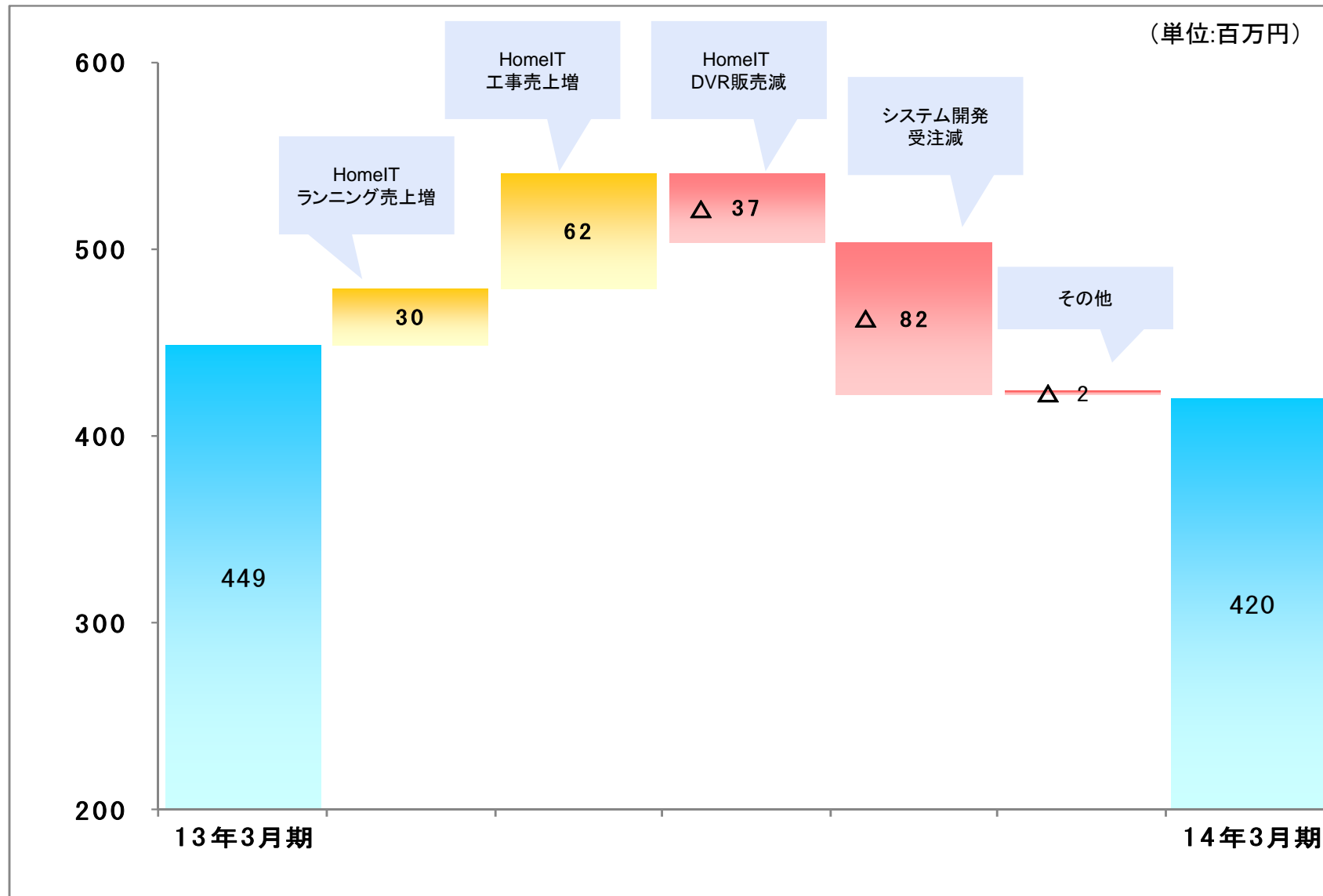
(単位:百万円)

	2014年3月期 1Q実績	2013年3月期 1Q実績	対前期増減額	対前期増減率	2014年3月期 業績予想
売上高	420	449	△29	△6.6%	1,850
営業利益	△34	13	△47	—	150
経常利益	△35	12	△47	—	144
純利益	△80	6	△86	—	81

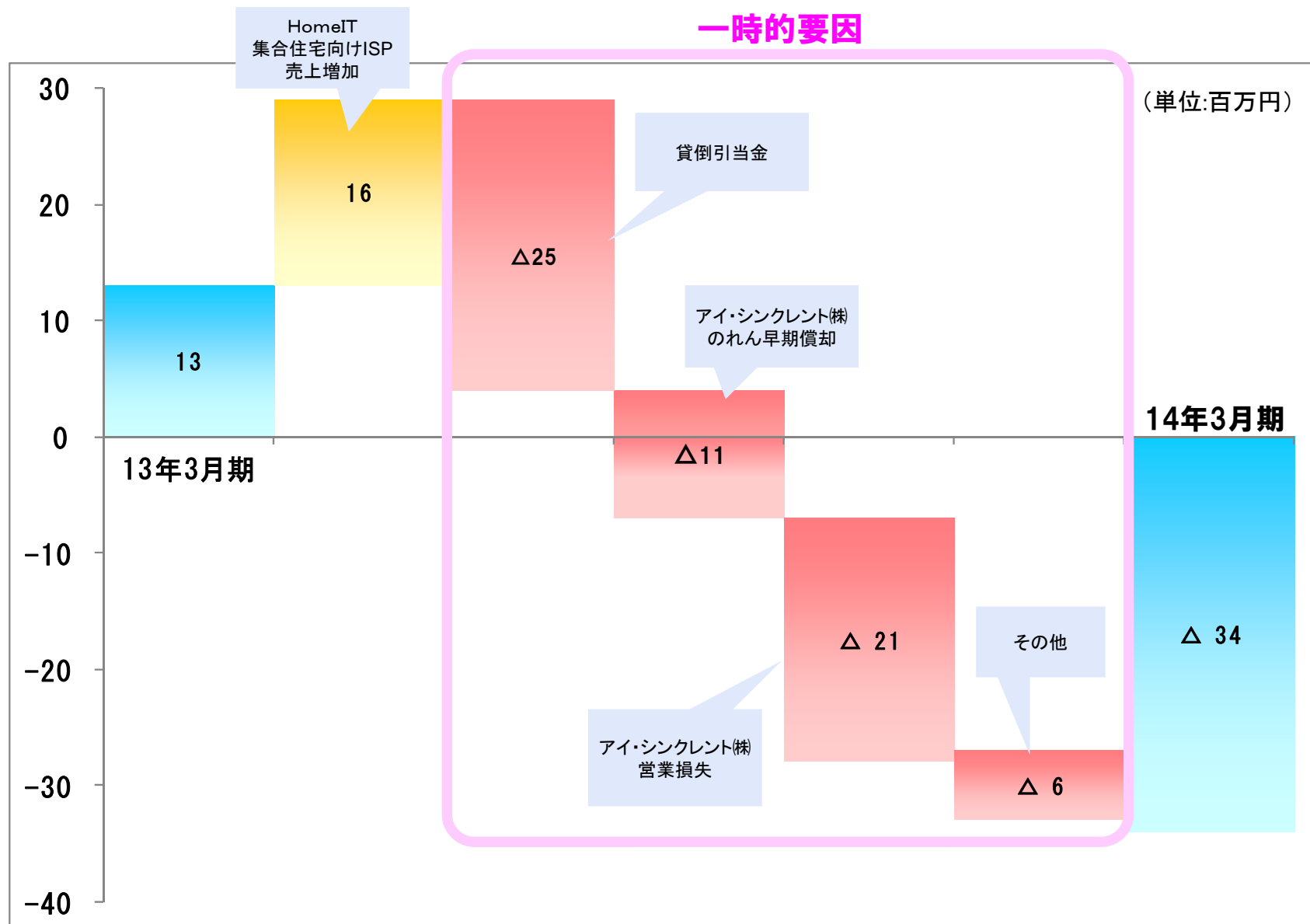
- ◆ HomeIT事業については、不動産管理会社等との提携が進み、分譲・賃貸マンション向けISPとともに順調に契約戸数を伸ばし増収・増益。(2014年3月末比 課金戸数3,305戸増)
- ◆ システム開発事業については、事業規模縮小に伴い大幅に売上高が減少し損益悪化。  
⇒7月1日付けで事業譲渡を実施。
- ◆ 賃貸家賃クレジットカード収納／保証サービス『アイ・スマイル』の事業損失計上に加え、のれんの早期償却、ソフトウェアの減損等を実施。  
⇒本日(8月14日)付けで子会社アイ・シンクレント(株)株式の売却を決定・実施。

先行き不透明な事業の整理により、好調な集合住宅向けITサービスの収益が直接反映される構造に変化。

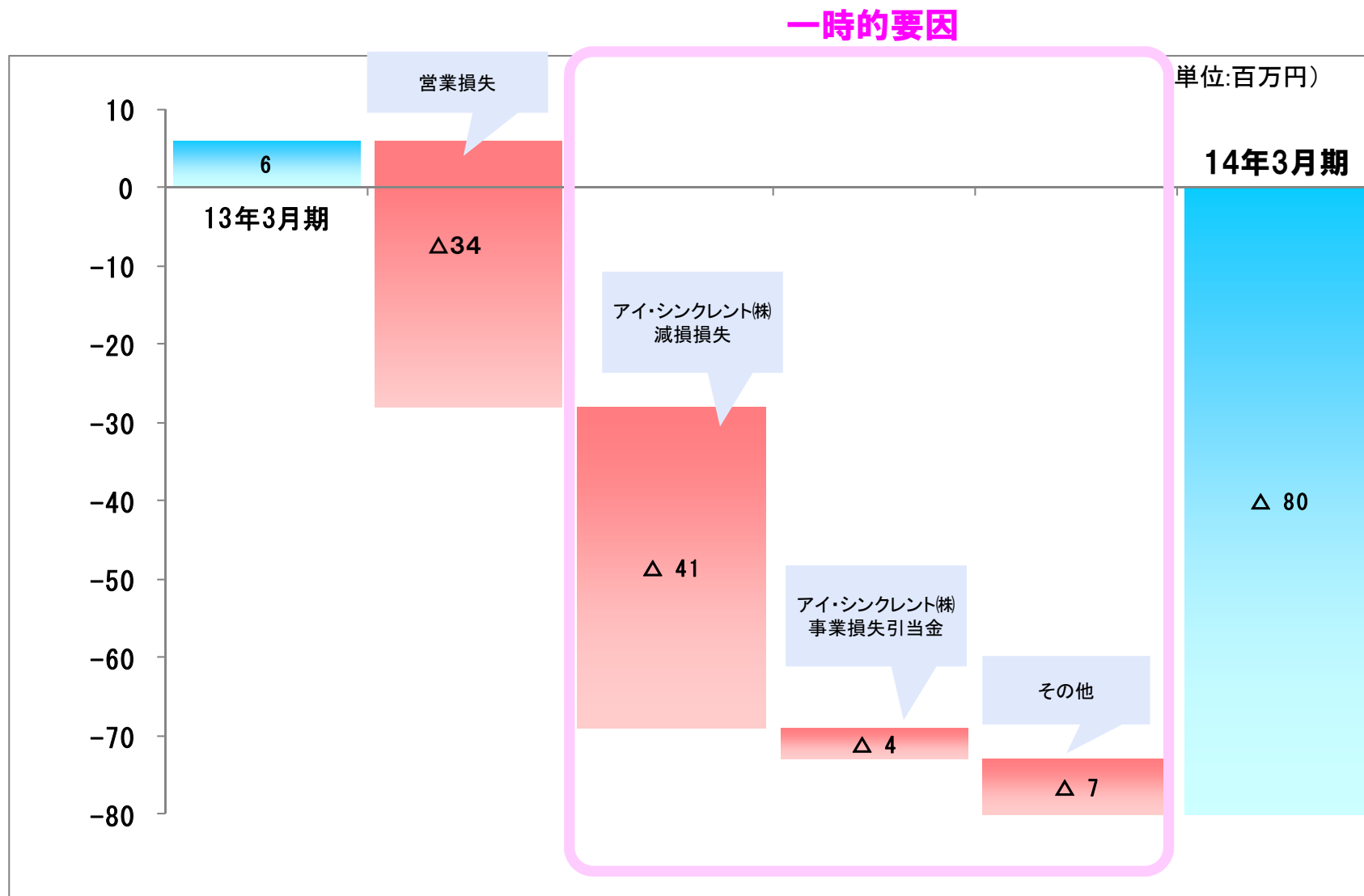
# 2014年3月期 第1四半期 売上高



# 2014年3月期 第1四半期 営業利益



# 2014年3月期 第1四半期 純利益



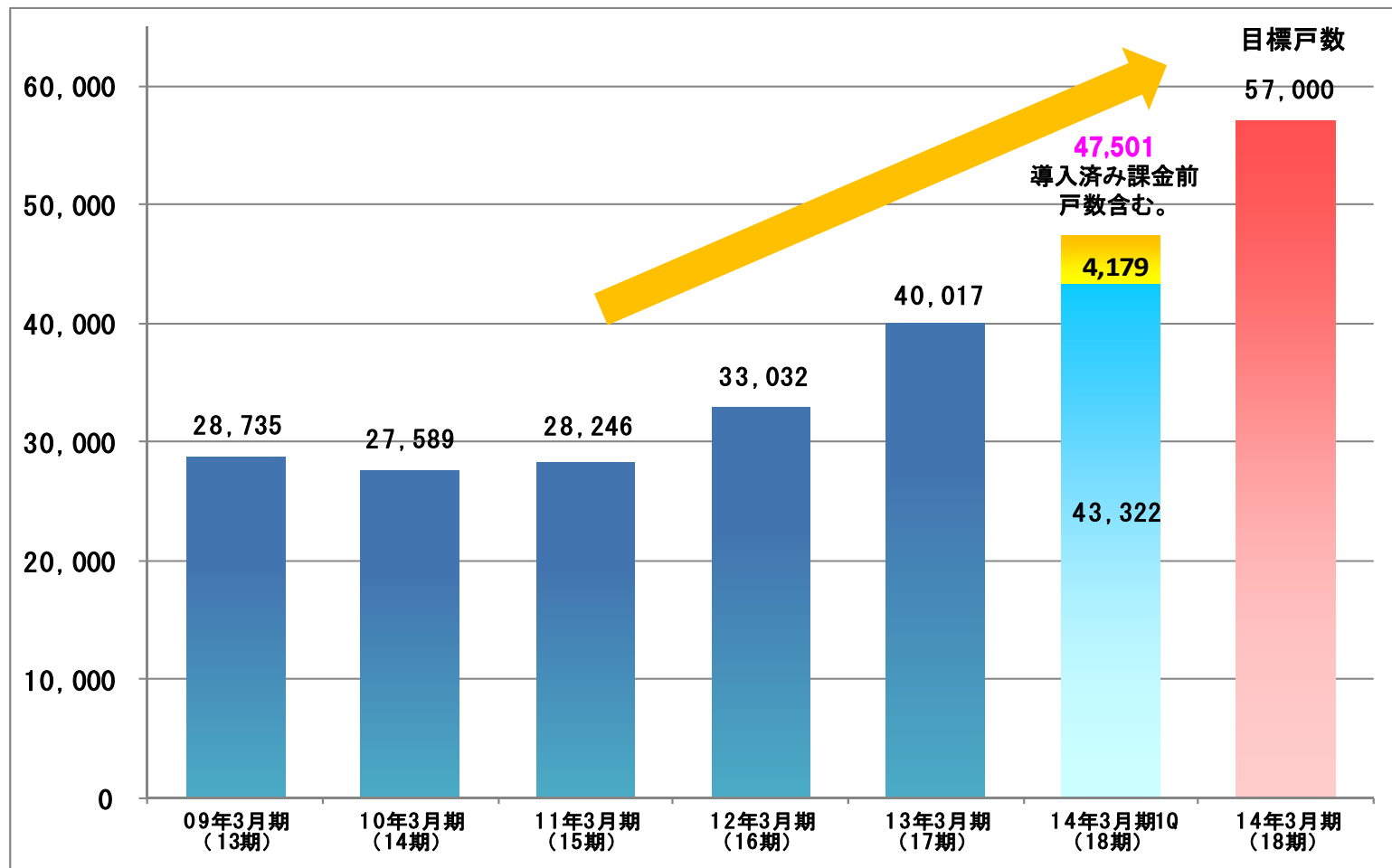


## 2. 事業進捗状況

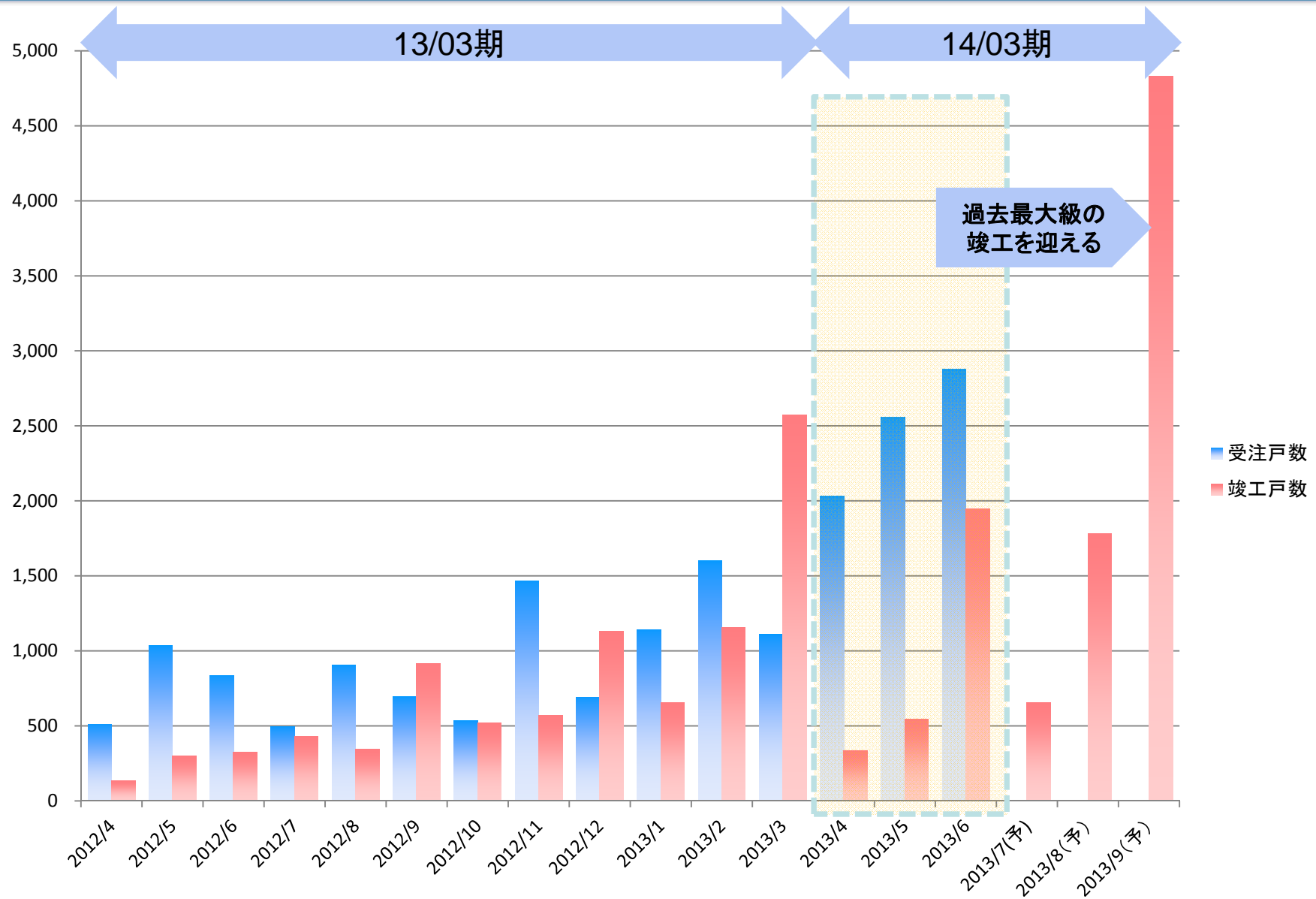


# 集合住宅向けISP導入実績

## 集合住宅向けISP事業導入実績



# ISPの受注戸数/竣工戸数推移





### 3. 業績予想

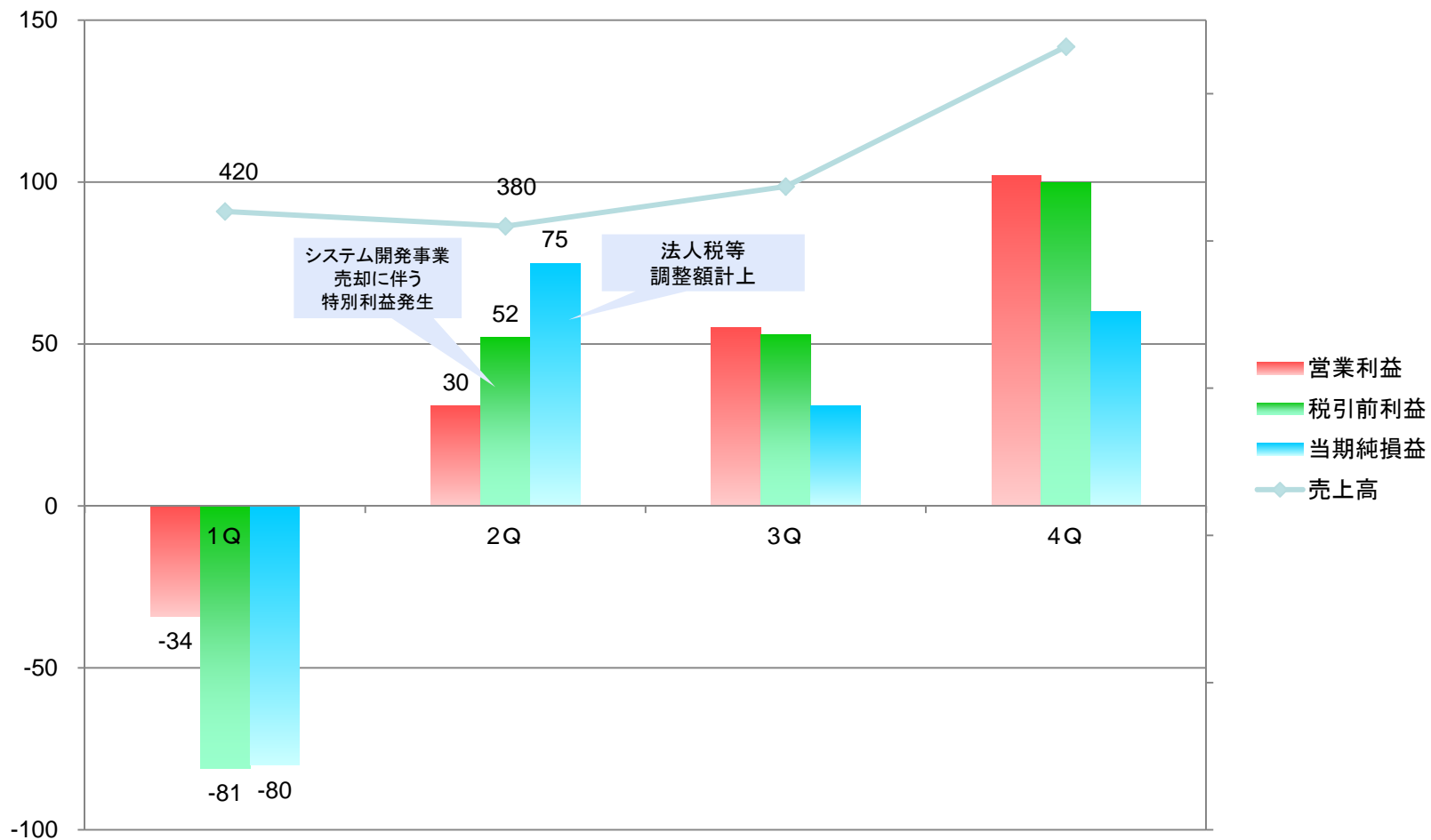
## 2014年3月期連結業績予想【PL】

(単位:百万円)

	2014年3月期 上期予想	2014年3月期 下期予想	2014年3月期 通期予想	対前期実績 増減額	2013年3月期 実績
売上高	800	1,050	1,850	△46	1,896
営業利益	△4	154	150	86	64
経常利益	△7	151	144	83	61
純利益	△5	86	81	63	18

- ◆ HomeIT事業については、前期からの営業活動強化の効果等により、繁忙期である下期に向けて引き続き堅調な推移を見込む。
- ◆ 第1四半期に保証事業撤退に伴う損失が発生するも、同事業を行うアイ・シンクレント(株)株式の売却や赤字事業であるシステム開発事業の譲渡により事業損益は改善。
- ◆ 上記の損益改善及び損失発生に伴う繰延税金資産の計上などにより、現時点における業績予想の変更はありません。

# 2014年3月期 四半期連結業績推移イメージ



第1四半期に減損損失等の特別損失が発生し最終損益が大幅に悪化するも、本日発表の子会社アイ・シンクレント(株)株式の売却により、第2四半期に繰延税金資産計上等に伴う税効果を見込んでおります。